



平成23年11月17日

がんワクチン機能を有する遺伝子薬の開発研究

<概要>

岡山大学にて発見された新規がん治療遺伝子 (REIC/Dkk-3) を用いる第二世代製剤の開発研究が、(独)科学技術振興機構 (JST) 殿の支援にて開始されます。

JST 研究開発プログラム (研究成果最適展開支援プログラム:A-STEP 実用化挑戦タイプ) での採択名は「がんワクチン機能を有する遺伝子医薬」です。

この事業は、桃太郎源株式会社殿と岡山大学が共同開発中の「自己がんワクチン療法」の実現を果たすもので、具体的には岡山大学ナノバイオ標的医療センター (ICONT: センター長 公文裕巳教授) の研究成果である「遺伝子発現を上昇させるシステム及び該システムを保持したベクター (特許出願番号: PCT/JP2010/071196)」ならびに「単球から樹状細胞様分化を誘導し、抗癌免疫活性を高める癌の治療又は予防のための医薬組成物 (特許出願番号: 特願 2010-505881)」および「新規悪性中皮腫治療剤及び免疫賦活化剤 (特許出願番号: PCT/JP2009/063907)」など中核技術を形成する3件の特許を活用して行われます。

研究では、「がん細胞の選択的細胞死」と「抗がん免疫の活性化」を同時に実現する新しいタイプのがんワクチンとして、現在、岡山大学病院にて臨床研究を実施中の第一世代 Ad-REIC 製剤に比して、1/10 の薬剤量で同等の効果を発揮する第二世代の薬剤創成を行い、前立腺がん以外の腎臓がんなどの幅広いがん種への適応拡大を見込んでいます。

本事業は、JST 殿による桃太郎源株式会社殿の実用化支援事業として実施されますが、桃太郎源株式会社殿の自己資金も充当されます。

岡山大学は、桃太郎源株式会社殿との連携により、毒性試験から臨床研究における安全性と効果の確認など、医薬品として臨床使用が可能な製剤の確立を担当します。

<お問い合わせ>

岡山大学 研究推進産学官連携機構
知財本部・渡邊 裕

(電話番号) 086-251-8472

(FAX 番号) 086-251-8961